



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社サイトリ細胞研究所
 コード番号 3750 URL <https://www.cytori.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 聡寧

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 藤村 剛

TEL 03-6860-5701

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,172	75.4	380		437		561	
2022年3月期第2四半期	668	26.5	259		237		34	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 561百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 33百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	62.86	
2022年3月期第2四半期	3.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	14,239	3,155	20.6	329.27
2022年3月期	16,006	3,716	21.9	392.12

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,939百万円 2022年3月期 3,501百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の配当予想につきましては未定としております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,260	144.1	320		140		20		2.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
除外2社(社名) 都立大学1匿名組合、都立大学2匿名組合
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	8,929,419 株	2022年3月期	8,929,419 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	875 株	2022年3月期	700 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	8,928,561 株	2022年3月期2Q	8,773,413 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルスの行動制限緩和により経済活動が正常化に向かう中、資源価格の高騰や急激な円安の進行などの影響により、依然として先行きは不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業基盤の整備・拡充、ならびに事業領域における競争力強化、収益性向上に鋭意取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における連結売上高は1,172百万円（前年同四半期比75.4%増）、営業損失は380百万円（前年同四半期 営業損失259百万円）、経常損失は437百万円（前年同四半期 経常損失237百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は561百万円（前年同四半期 親会社株主に帰属する四半期純損失34百万円）となりました。

なお、連結子会社のデュエイ(株)が都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合に出資しておりましたが、当社グループの経営戦略にしたがい匿名組合出資持分を全て譲渡し、両匿名組合を連結の範囲から除外しております。

また、合同会社バロンは、連結財務諸表に与える影響が乏しくなったため、同社を連結の範囲から除外しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(メディカル事業)

当第2四半期連結累計期間におけるメディカル事業は、医療機器として認可を受けたセルーション遠心分離器と高度管理医療機器クラスⅢとして認可を受けたセルセラピーキットを国内の医療機関へ積極的に販売をしてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のメディカル事業の売上高は83百万円（前年同四半期比16.9%減）となり、営業損益は、営業損失118百万円（前年同四半期 営業損失105百万円）となりました。

(リアルアセット事業)

当第2四半期連結累計期間におけるリアルアセット事業は、匿名組合出資金持分の売却が売りに貢献いたしました。また、当社グループ保有のホテルにおいては、宴会・宿泊売上が前年に比べ大幅に回復したものの、新型コロナウイルス感染症流行前の6割程度の水準にとどまりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のリアルアセット事業の売上高は1,089百万円（前年同四半期比91.8%増）となりました。営業損益につきましては、運営するホテルの雇用の維持を図りつつ経費圧縮に努めてまいりましたが、人件費及びホテル不動産の減価償却費負担により、営業損失187百万円（前年同四半期 営業損失77百万円）を計上することとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,265百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,763百万円減少いたしました。これは主に都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合の連結除外による販売用不動産の減少及び営業投資有価証券の売却によるものであります。固定資産は12,974百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。

この結果、総資産は14,239百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,767百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は584百万円となり、前連結会計年度末に比べ410百万円減少いたしました。これは主に都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合の連結除外による短期借入金の減少及び長期借入金の約定返済による1年内返済予定の長期借入金の返済によるものであります。固定負債は10,499百万円となり、前連結会計年度末に比べ794百万円減少いたしました。これは主に都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合の連結除外による長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は11,084百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,205百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,155百万円となり、前連結会計年度末に比べ561百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は20.6%（前連結会計年度末は21.9%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、560百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、増加した資金は19百万円（前年同四半期は98百万円の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は93百万円（前年同四半期は48百万円の増加）となりました。これは主に定期預金の預け入れ及びホテル金沢の改修工事に係る費用の支出が、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入を上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は66百万円（前年同四半期は87百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金による収入が長期借入金の返済による支出を下回ったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	851,558	860,857
商品	161,522	184,194
その他	2,016,082	220,220
流動資産合計	3,029,163	1,265,271
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,412,442	4,352,606
土地	7,426,129	7,426,129
その他(純額)	202,482	262,918
有形固定資産合計	12,041,055	12,041,653
無形固定資産		
のれん	693,077	670,111
その他	49,424	48,333
無形固定資産合計	742,502	718,445
投資その他の資産	194,045	214,382
固定資産合計	12,977,602	12,974,482
資産合計	16,006,766	14,239,754
負債の部		
流動負債		
短期借入金	164,275	-
1年内返済予定の長期借入金	553,392	356,454
その他	277,822	228,128
流動負債合計	995,489	584,583
固定負債		
長期借入金	8,550,792	7,789,564
匿名組合出資預り金	1,035,234	1,077,713
繰延税金負債	1,517,164	1,488,190
その他	191,633	144,512
固定負債合計	11,294,823	10,499,981
負債合計	12,290,313	11,084,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,939,268	2,939,268
利益剰余金	462,800	△98,261
自己株式	△982	△1,183
株主資本合計	3,501,085	2,939,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	50
その他の包括利益累計額合計	67	50
新株予約権	211,501	211,501
非支配株主持分	3,798	3,813
純資産合計	3,716,452	3,155,188
負債純資産合計	16,006,766	14,239,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	668,468	1,172,744
売上原価	322,101	634,678
売上総利益	346,366	538,065
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	149,642	202,797
減価償却費	112,031	140,627
その他	344,066	575,626
販売費及び一般管理費合計	605,739	919,050
営業損失(△)	△259,373	△380,985
営業外収益		
助成金収入	43,543	22,758
その他	23,396	5,789
営業外収益合計	66,939	28,548
営業外費用		
支払利息	41,765	59,664
アレンジメントフィー	-	25,000
その他	3,039	269
営業外費用合計	44,805	84,934
経常損失(△)	△237,238	△437,370
特別利益		
投資有価証券売却益	85,510	-
負ののれん発生益	96,181	-
その他	-	0
特別利益合計	181,692	0
特別損失		
関係会社出資金売却損	-	107,628
減損損失	-	6,172
その他	-	619
特別損失合計	-	114,419
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△55,546	△551,790
匿名組合損益分配額	△8,359	△12,785
税金等調整前四半期純損失(△)	△47,187	△539,005
法人税、住民税及び事業税	1,508	960
法人税等調整額	△14,692	21,300
法人税等合計	△13,183	22,260
四半期純損失(△)	△34,003	△561,266
非支配株主に帰属する四半期純利益	237	15
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,241	△561,281

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純損失（△）	△34,003	△561,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	△17
その他の包括利益合計	52	△17
四半期包括利益	△33,951	△561,283
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,189	△561,299
非支配株主に係る四半期包括利益	237	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△47,187	△539,005
減価償却費	130,682	145,803
のれん償却額	22,966	22,966
投資有価証券売却損益 (△は益)	△85,510	-
負ののれん発生益	△96,181	-
関係会社出資金売却損	-	107,628
売上債権の増減額 (△は増加)	44,973	10,029
棚卸資産の増減額 (△は増加)	206,333	△22,019
仕入債務の増減額 (△は減少)	△18,257	12,054
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△226,512	337,667
その他	17,374	3,072
小計	△51,319	78,197
利息の支払額	△41,765	△55,744
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,151	△2,603
営業活動によるキャッシュ・フロー	△98,236	19,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△150,000
有形固定資産の取得による支出	△25,864	△114,616
無形固定資産の取得による支出	-	△5,600
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△208,252	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	198,497
投資有価証券の売却による収入	282,813	-
その他	△20	△22,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,675	△93,753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	2,500,000
長期借入金の返済による支出	△260,400	△2,621,914
匿名組合員からの払込みによる収入	-	55,264
新株予約権の行使による株式の発行による収入	151,681	-
その他	△3,531	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,749	△66,646
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	38,188	△140,550
現金及び現金同等物の期首残高	1,069,738	701,558
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△150
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,107,927	560,857

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるデューイ㈱は、都立大学Ⅰ匿名組合及び都立大学Ⅱ匿名組合の出資持分を全て譲渡したため、両匿名組合を連結の範囲から除外しております。

また、合同会社バロンは、連結財務諸表に与える影響が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外しております。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症による影響

当第2四半期累計期間において、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方、収束時期やその影響の程度の見積り及び判断の基となった仮定について、前連結会計年度から重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディカル事 業	リアルアセッ ト事業	計		
売上高					
メディカル	100,683	—	100,683	—	100,683
ホテル業	—	183,081	183,081	—	183,081
不動産業	—	249,575	249,575	—	249,575
顧客との契約から生じる収益	100,683	432,657	533,340	—	533,340
その他の収益	—	135,127	135,127	—	135,127
外部顧客への売上高	100,683	567,784	668,468	—	668,468
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—
計	100,683	567,784	668,468	—	668,468
セグメント損失 (△)	△105,935	△77,658	△183,594	△75,779	△259,373

(注) 1 セグメント損失の調整額△75,779千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(重要な負ののれん発生益)

「リアルアセット事業」セグメントにおいて、新たに匿名組合出資したことにより、匿名組合を連結の範囲に含めております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、前第2四半期連結累計期間においては96,181千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディカル事 業	リアルアセッ ト事業	計		
売上高					
メディカル	83,682	—	83,682	—	83,682
ホテル業	—	414,786	414,786	—	414,786
不動産業	—	650,238	650,238	—	650,238
顧客との契約から生じる収益	83,682	1,065,024	1,148,706	—	1,148,706
その他の収益	—	24,037	24,037	—	24,037
外部顧客への売上高	83,682	1,089,062	1,172,744	—	1,172,744
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—
計	83,682	1,089,062	1,172,744	—	1,172,744
セグメント損失 (△)	△118,757	△187,918	△306,675	△74,309	△380,985

(注) 1 セグメント損失の調整額△74,309千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

重要な子会社等の設立

当社は2022年11月11日開催の取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議いたしました。なお、当該子会社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため、同社は当社の特定子会社に該当することとなります。

1. 設立の目的

当社グループは、メディカル事業にて、脂肪組織再生由来（幹）細胞を用いた細胞治療の研究、医療機器の製造・輸出入・販売を中心に展開しております。今般、当社グループの持続的な成長と企業価値向上を図るため、細胞治療サービスに特化した新会社を設立するものであります。

2. 設立する子会社の概要

- | | |
|-----------|----------------------------|
| (1) 名称 | サイトリ・セルセラピー株式会社 |
| (2) 所在地 | 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 |
| (3) 事業の内容 | 細胞治療サービスの提供、細胞バンク、医療機器の販売等 |
| (4) 資本金 | 10百万円 |
| (5) 設立の時期 | 2022年11月下旬（予定） |
| (6) 出資比率 | 当社100% |